

議 事 録

会議の名称	令和元年度第2回岩倉市子ども・子育て会議
開催日時	令和元年8月22日(木)午後1時15分から午後3時00分まで
開催場所	岩倉市役所 7階 第1委員会室
出席者 (欠席委員・事務局)	出席者：渡邊眞依子会長、宮川美樹会長職務代理、町田竜介委員、 廣中大雄委員、池田哲也委員、栗林優子委員、西出香奈委員 欠席委員：高木辰也委員、中島正資委員、安長美季恵委員、 野瀬さやか委員、小林麻衣委員 事務局：教育こども未来部長、子育て支援課長、指導保育士、児童館長、 児童グループ長及び担当 コンサルタント：地域問題研究所
会議の議題	1 幼児教育・保育の無償化について 2 幼稚園における実費徴収に係る補足給付事業(副食費)について 3 岩倉市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 4 子ども・子育て支援に関するニーズ量等の見込みについて (教育・保育、放課後児童健全育成事業) 5 その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()
会議に提出された 資料の名称	資料1 10月から幼児教育・保育の無償化が始まります 資料2 副食費の施設による徴収に係る補足給付事業について 資料3 岩倉市子ども・子育て支援事業計画の概要と点検及び評価に ついて 資料3 別紙 保健事業実施状況 資料4 子ども・子育てに関するニーズ量等の見込み 資料5 子ども・子育て講演会&座談会 前回議事録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会	
事務局	・令和元年度第2回岩倉市子ども・子育て会議を開催させていただきます。 ・本日は欠席の委員が何名いらっしゃいますが、会は成立しています。
会長	・本日もよろしくお願いいたします。

2. 議題	
(1) 幼児教育・保育の無償化について 事務局より、資料1「10月から幼児教育・保育の無償化が始まります」に基づき、幼児教育・保育の無償化の概要について説明	
委員	・新制度になってから保育料の算定は4月と9月の年2回だが、今回10月の無償化に向けて、9月の算定はどうするのか。
事務局	・保育料は、例年4月に前々年度の所得税を基に算定をし、9月以降に最新の所得税を見て、算定をし直す作業を行っています。 ・今年度は無償化が始まるため、9月に従来通りの見直しを行い、10月に無償化のための見直しを再度行う予定です。国からは9月の見直しを行わず、8月までと同様の規定でよいという連絡はありますが、本市も、近隣市町も従来通りの9月と無償化開始の10月で実施する予定です。
委員	・新2号認定の延長預かりについて、就労証明書を出す頻度はどうなるか。
事務局	・10月からの無償化に向けて就労証明書を提出していただきます。 ・今年度は12月に再度提出していただく予定です。
委員	・申請は年度末にまとめて行うことになりますか。 ・就労や収入の状況が変わる場合にはどのような手続きが必要になりますか。
事務局	・申請は年度の始めか、前年度末までに提出してもらうことになります。 ・就労や収入の状況が変わって、制度の対象から外れる場合には、変更届を提出していただくように周知しています。
会長	・議題の幼児教育・保育の無償化について、事務局の報告を了承するということがよろしいでしょうか。 (異議等なし) ・ご了承いただきました。
議題(2) 幼稚園における実費徴収に係る補足給付事業(副食費)について 事務局より、資料2「副食費の施設による徴収に係る補足給付事業について」に基づき、補足給付事業の概要について説明	
委員	・10月から始まる事業なので、現行の子ども・子育て事業計画を変更する必要がありますか。
事務局	・国からは現行の計画を変更せず、次期計画で位置づけてもよいという指針が出ているため、本市も次期計画で位置づけていきたいと考えています。
議題(3) 岩倉市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 事務局より、資料3「岩倉市子ども・子育て支援事業計画の概要と点検及び評価について」、資料3別紙「保健事業実施状況」に基づき、計画の概要と評価について説明	
会長	・放課後児童健全育成事業は、平成31年度に定員を増やして対応しているということよろしいでしょうか。
事務局	・平成31年度から岩倉南小学校放課後児童クラブの定員を20人増やしています。
委員	・放課後児童クラブも先ほどの無償化の対象になるのでしょうか。
事務局	・無償化は就学前児童3～5歳児が対象となっています。小学生は対象外です。
委員	・ファミリーサポートセンター事業は、確保量は十分にあるが、利用実績が伸び悩んでいるということですか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンター事業は、ニーズが出てきたときに、それに対応できる条件の合う人を探して、マッチングをして利用される事業です。 ・利用実績は定期利用があるかどうかで大きく実績が変わってきています。 ・確保量は、それまでの最大値を設定しているため、定期利用が少ない年には大きく差ができます。
会長職務代理	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンター事業の実績は、利用回数ということでよろしいですか。 ・登録者の人数には大きな変化がないのは、年間を通して登録はしたが、利用はしなかったという人もいるということですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンター事業の実績は、利用回数で、登録のみという方も多かったということです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の岩倉市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、事務局の報告を了承するという事によろしいでしょうか。 (異議等なし) ・ご了承いただきました。 ・後からでも気づいた点があれば事務局へお問合せください。
<p>議題（４）子ども・子育て支援に関するニーズ量等の見込みについて (教育・保育、放課後児童健全育成事業) 事務局より、資料４「子ども・子育てに関するニーズ量等の見込」に基づき、保育事業や放課後児童クラブ等のニーズ量等の見込みとその確保策について説明</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園では、市内の人が市外の園を利用したり、市外の人が市内の園を利用したりする例がありますが、この数字はどこまでを見込んでいますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市の子どもを岩倉市内の施設で受け入れる、利用してもらうことを前提に見込んでいます。 ・市外の利用については、最終的に県の計画での調整がされます。
会長職務代理	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブは見込み量が多いのに対して、定員が少なくなっています。実際の現場を見ると、全員が毎日来るわけでもなく、利用状況に応じて、先生の配置をするなど、全ての利用希望に対応している状況があります。 ・数字だけでなく、対応していることを説明していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見のように、本市の放課後児童クラブは、年々利用者数は増えていますが、待機児童はおらず、何とか対応している状況です。今後受け入れを6年生まで拡大して、学校で一体型で対応していく予定にしています。さらなる充実を図っていきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みについても同様に対応している状況があります。そのような状況を説明した方がよいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況に応じて人の配置や他施設の利用など柔軟に対応していることを表記していきたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法は事務局にお任せするので、記載をお願いします。
会長職務代理	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの利用が伸び悩んでいる状況について、平成29年から「おでかけひよこ広場」を子育て支援センターだけでなく、地域の児童館等に出向

	いて実施するようになっていきます。保護者からみると、選択肢が増えている状況です。こういった事業によって「子育て支援センター」だけを見ると伸び悩みの状況になっていると思われます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「おでかけひよこ広場」の利用が年間 1,700 人（親＋子ども）であり、子育て支援センターの減少分の多数を占めています。様々な事業でニーズに応じていると考えています。 ・また、0～2歳の保育ニーズへの対応が進んでおり、その分の子育て支援センター利用が少なくなっていることも考えられます。 ・現状部分の文章で上記のようなことを示していきたいと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育は減少しているのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げている延長保育は保育時間が 11 時間以上のことであり、本市では具体的には、18 時 30 分～19 時までのことを指します。 ・実績としては減少しています。アンケートのニーズ調査でも希望は前回に比べて少なくなっています。 ・0 歳～2 歳の保育利用は増えていますが、時短勤務などの社会の理解が進んでいることも要因と考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・とはいえ、0～2 歳児の保育量の絶対量は増えています。この確保量で大丈夫ということですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と今後の整備で対応できる量と考えています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の子ども・子育て支援に関するニーズ量等の見込みについて、事務局の報告を了承するというところでよろしいでしょうか。（異議等なし） ・ご了承いただきました。 ・追加でご意見があれば 8 月 30 日までに事務局にご連絡をいただきたい。
<p>議題（５）その他 事務局より、資料 5 「子ども・子育て講演会&座談会」に基づき、講演会&座談会について説明</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の追加募集をしています。ぜひお声がけをして参加者を増やしていきたいと考えています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議題はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。 ・事務局に進行をお返しします。
<p>3. その他 事務局より次回の開催日について日程調整</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第 2 回岩倉市子ども子育て会議を閉会させていただきます。

以上